

事務事業名	交付金活用通学路道路整備事業	所属部	建設部	所属課	建設工務課	
総 計 画 体 系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>	所属G	公共土木G	課長名	渡部 克彦
	施策名	(12)道路の整備	担当者名	松村 直樹	電話番号	0854-40-1063 (内線) 2471
	目的 対 象	市民	意 図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 4 0 0 2 業名 項 目 中事業 道路施設管理事業 1 0 1 0 1 4 業名 交付金活用通学路道路整備 事業
	基本事業名	(034)道路の新設・改良	目的 対 象	道路利用者	意 図	安全で便利に移動できる。

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H29 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・防災・安全社会資本整備交付金を活用し、歩道整備を実施する。 ・通学路安全プログラムに基づき、計画的な整備及び修繕等を実施する。

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動	R元年度実績 (R元年度に行った主な活動)	R2年度計画 (R2年度に計画する主な活動)			
		・市道新市里方線歩道整備工事 ・市道三刀屋南側線歩道整備工事 ・市道地王給下線歩道整備工事 ・市道掛合高等学校線歩道整備工事	・市道旭町三刀屋大橋線歩道整備工事 ・市道旭町三刀屋大橋線土地購入費 ・市道旭町三刀屋大橋線分筆登記業務			
	② 活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	ア 契約件数	件	5	7	5	3
	イ 修繕箇所(工区)数	箇所	4	4	4	1
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	①生活道路の利用者 ②修繕が必要な生活道路等	ア 人口【国勢調査(推計)】	人	37,794	37,012	36,248	37,004
		イ 雲南市市道延長	km	1,112	1,112	1,111	1,111
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)	
①市内を安全で迅速に移動できるようにする。 ②修繕(補修)等を実施する。	ア 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%	69.2	68.5	63.3	63.3	
	イ 生活道路で危ない場所があると感じている市民の割合	%	53.3	64.6	72.3	72.3	
	ウ 施工箇所	箇所	4	4	4	1	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)	
【工事請負費】 新市里方線歩道整備工事 17,490千円 三刀屋南側線歩道整備工事 12,841千円 地王給下線歩道整備工事 5,863千円 掛合高等学校線歩道整備工事 1,098千円 計4路線 4箇所 37,292千円 【補償費】新市里方線歩道移転補償 2,065千円 需用費他 341千円 【地方債】合併特例	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	22,447	24,860	24,047	12,540
		県支出金	千円				
		地方債	千円	13,500	14,700	14,600	7,400
		その他	千円				
	一般財源	千円	857	1,091	1,051	460	
	事業費計 (A)	千円	36,804	40,651	39,698	20,400	
	人 件 費	正規職員従事人数	人	3	1	1	
		延べ業務時間	時間	300	300	300	
		人件費計 (B)	千円	1,223	1,300	1,272	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	38,027	41,951	40,970		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成28年度から事業着手しており、毎年雲南市通学路安全推進会議で危険箇所を抽出し、雲南市通学路安全プログラムに掲載し、計画的に事業を実施している。通学路の危険箇所が多数ある為、今後も継続的に事業を実施していく。	雲南市通学路安全推進会議において、関係部署から危険箇所の抽出を行い、毎年ローリングを行い、雲南市通学路安全プログラムに掲載し、緊急性の高い箇所から計画的に事業を実施している。	・小学校・中学校から危険箇所等多数の改善要望がある。 ・保護者から通学路の重要性と着実な実施の指摘がある。

事務事業名	交付金活用通学路道路整備事業	所属部	建設部	所属課	建設工務課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	・雲南市通学路安全プログラムに基づき、危険箇所の抽出及び合同点検により、緊急性の高い箇所から事業実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	・廃止すれば、通学路の安全性向上の進捗が遅れる。 ・市民からの修繕要望に応えられなくなる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由		・雲南市通学路安全プログラムに基づき、危険箇所の抽出及び合同点検により、緊急性の高い箇所から事業実施しているため、類似事業の統廃合はない。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		道路の規格・構造は一定の基準に基づいて設計しており、工法についても比較検討の上採用している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		用地買収や工事費積算は守秘義務があり困難である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		道路は不特定多数の市民が利用する施設であり、利用者を特定した受益負担は求められないことから公平・公正である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・本事業は市民、議会及び職員にも事業効果について理解を得られていると考えている。 ・対応できなかった修繕を計画的に行うことができ、道路利用者の安全が確保できる。	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持低下	●	×			×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持低下	●	×																	
		×	×																	
雲南市通学路安全プログラムに基づき、危険箇所の抽出及び合同点検により、緊急性の高い箇所から事業実施している。今後も通学路の安全確保を図る為、事業を継続していく。	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																			